

「甲南大学 学生相談室 新型コロナウイルス特設サイト」 報告 その3

— (2022年1月-2022年12月) —

甲南大学学生相談室 西 浦 太 郎

I. はじめに 特設サイト制作に至る経緯

2019年12月に新型コロナウイルスが発生し、WHOによりパンデミック宣言がなされ、我が国においても政府により緊急事態宣言が発令された。感染予防・感染拡大防止のために様々な行動制限が行われ、日本の高等教育機関もその影響を免れることはできず、授業もそれまでの対面授業からオンラインなどによる非対面授業へと切り替わり、学生・教職員ともに多くの困難を強いられる状況にあった。

このような状況を受け、甲南大学学生相談室では、学生と教職員への非対面での支援を行うべく、「学生相談室 新型コロナウイルス特設サイト」（以下、特設サイト）を2020年5月に開設し、2022年12月現在まで継続して行っている。特設サイトでは、感染状況や学生の状況を受けて、必要と思われる情報を新たに発信したり、学生に情報が届きやすくなるように特設サイトの仕様の変更も行なってきた（西浦2020, 西浦2021）。

本報告では、2022年における特設サイトに関する活動や今後の課題や展望を述べる。

II. 特設サイトの基本的な仕様

特設サイトの基本的な仕様を表1に示した。特設サイトは公開してから現時点で約2年8ヶ月経過し、総閲覧者数は31,478人（2022.12.31時点）である。

次に、特設サイトの閲覧可能な媒体は、パソコン、スマートフォン・タブレットなどであり、近年ではパソコンでの閲覧者の割合が増加している傾向にある。

また、WEBサイトを構築するためのサービス利用料は年間1万7,160円となっている。この料金には、閲覧者が特設サイトを閲覧した際の閲覧



写真① 特設サイトのトップページ

表1 特設サイトの概要

特設サイトURL	https://konan-gakuso.wixsite.com/tokusetsu
特設サイト公開日	2020年5月9日 公開期間：2年8ヶ月（2022年12月31日現在）
主な対象者	学生・教職員（その他：保護者・大学関係者）
総閲覧者数	のべ人数31,478名。（2022年12月31時点）
閲覧可能機器	PC・スマートフォン・タブレット端末
使用容量	データ容量：10GB。最大1時間の動画公開可能（有料版）
費用	サービス使用料：1万7160円（年間） 統計データアプリケーション：1万2320円（年間）

傾向を解析するアプリケーション代も含まれている。利用者数を確認し、利用者のニーズを探りコンテンツ制作の際の参考に使っている。

一般に業者に委託した場合、委託先にも拠るが、WEBサイトの構築から維持に30～40万円掛かり、その後は、毎年メンテナンス料が年間12万円以上発生する。特設サイトの場合、サイトの制作・公開は、筆者が行なっているため低コストで抑えられている。また、自前で編集・公開作業をしているため、自由に編集が可能となり、コンテンツを迅速に公開でき、閲覧者にはタイムラグが少ない状態でコンテンツを届けることが可能となっている。

次に、閲覧の際に使用されたデバイスであるが、2022年は、パソコンが54.4%とスマートフォンの43.8%よりも多い。ただ、スマートフォンの閲覧に関しては、過去2年と比較した場合、2022年はその割合が増え最も多くなっている(表2)。

表2 閲覧において使用されたデバイス

年	PC	スマートフォン	タブレット
2020年	58.1%	39.5%	2.4%
2021年	67.1%	31.1%	2.0%
2022年	54.4%	43.8%	1.8%

Ⅲ. 特設サイトのコンセプト

特設サイトは主に以下の4つのコンセプト(表3)に基づき、コンテンツを作成した(表4)。

まず、Aの「学生相談室の紹介」は、コロナ禍において生活する学生に、学生相談室の場所や雰囲気、利用の仕方などを知ってもらい、気軽に訪れ相談しやすくなることを目的としている。これには例えば、学生相談室の紹介動画などが含まれ

表3 特設サイトのコンテンツの分類

A. 学生相談室の紹介
B. 学生対象のコンテンツ
C. 教職員対象のコンテンツ
D. 学生との関係づくりに関するコンテンツ

る。

次にBの「学生対象のコンテンツ」は、コロナ禍において、修学や生活、心理面で様々な問題を抱える学生を支援するためのコンテンツである。これには、授業関連の情報(単位取得・遠隔授業・遠隔と対面授業への対応に関するもの)が含まれる。また、コロナ禍におけるストレス対処法を記したものや、新入生を対象とした「1年生の方へ」に関するコンテンツ、コロナ禍で孤立し、特に苦境に立たされた可能性のある一人暮らしの学生を対象とした「一人暮らしのコツ」などがある。

Cの「教職員対象のコンテンツ」は、コロナ禍における学生との関りや、障害のある学生との関わりに関する資料など、FD(Faculty Development)の要素を含むものが多い。

D「学生との関係づくりに関するコンテンツ」であるが、これは、カウンセラーが日々の中で感じ、考えたことを記したものや、学生相談室の周囲で起きる季節の移り変わりを紹介するものである。学生がこれらの文章を読むことで、カウンセラーの人柄に触れられたり、学生相談室をより身近に感じられることも目的としている。

これには、カウンセラーが日々のことや自分の考えを記したエッセイ集(「カウンセラーのひとりごと」)や学生相談室の植物を紹介するコーナー(「学生相談室の植物たち」)などのコーナーがある。また、2022年からは、学生相談室の活動に関する情報を発信する「学相ブログ」もある。

Ⅳ. 特設サイトの作成と広報について

特設サイトの制作過程について述べると、基本となるWEBサイトのコンセプトと構成を筆者が作成し、全体のWEB構築を行なった。その後、特設サイトのコンテンツを学生相談室のスタッフで分担して作り、公開した。

また、特設サイトの学内での広報であるが、2020年から行っている広報活動がベースになって

いる。具体的には、特設サイトのバナーを本学の公式のWEBサイトと学生相談室の本サイトのトップページに掲載し、学内の学生の目につく場所に特設サイトの概要を示すチラシを年間を通して掲示した。これに加え2022年の新たな試みとして、夏に

表4 WEBサイトのコンテンツメニュー（階層表）

区分	第1階層	第2階層	第3階層
トップページ	トップ画面	はじめに 室長からごあいさつ お知らせ NEW! リンク集 リンクポリシー	
メニュー	学生相談室の紹介	利用案内 施設紹介 新入生の方への案内 学生相談室の植物たち 生き物たち 音の通り道 一年生の方へ	
	学生の皆さんへ	就活生の方へ	就活生のメンタルケア 新型コロナウイルスと就活 WEB面接のコツ
		一人暮らしのコツ	食事-学食- 食事-自炊編-その1- 自炊ってどれぐらいするの? 食事-自炊編-その2- 自分の定番料理をもとう! お掃除のコツ 洗濯のコツ-洗ひ方編- 洗濯のコツ-干し方編-
		お料理レシピ	レシピ集
		お役立ちリンク集 陽性者の方へ・濃厚接触者の方へ コロナに感染したときの備え	
	授業・履修のこと	単位・履修のこと 遠隔授業を受けるときのコツ 遠隔授業と対面授業への対応のコツ	
	ストレス対処法	コロナ情報 不安に対処する5つのコツ 睡眠のコツ にこにこ体操 はひふへほ体操 スマホ・ネット依存 おいしいお茶の入れ方 椅子deヨガ 五感のトレーニング法	
	教職員の方へ	遠隔授業下の学生支援のヒント 配慮を必要とする学生への対応 学生支援のQ&A（ヒント集） 非常勤講師の方へ 関係部署（学内） 参考資料	
	カウンセラーのひとりごと	2022年エッセイ 2021年エッセイ 2020年エッセイ 2019年エッセイ	
	ブログ	学相ブログ	金曜Re:アワー／学生相談企画の告知

Twitter のアカウント「甲南大学 学生相談室」@konan_gakuso を開設し、学生相談室に関する情報発信を行った（写真②）。このアカウントは広報専用アカウントのため、積極的に相互フォローをしておらず、利用者とのやりとりは少ない。そのため、情報をいかに関心のある学生に拡散するかという課題がある。



写真② 学生相談室のツイッター

V. 特設サイトの階層表と公開したコンテンツ

2022年12月時点での特設サイトのコンテンツのメニューを表4に一覧で示した。閲覧者は、第1階層のメニューから第2階層、第3階層のメニューを選択する流れとなる。

なお、各コンテンツの詳細な説明については、紙面の都合上、全てに触れられないため、2020年の報告を参照していただきたい（西浦, 2021）。

次に2022年1月から同年12月までの間に公開したコンテンツ（表5）について述べる。特設サイ

トのコーナーがある程度、定まったこともあり、2022年は新しいコーナーを設置せず、既存のコーナーに毎月、コンテンツを定期的に公開することが多かった。

「はじめに」（No. 1）は、フロントページの学生向けの挨拶文であり、4月の学期が開始する度に新しいメッセージを作成し、公開している。定期的に公開・更新したコーナーは、カウンセラーによるエッセイ集である「カウンセラーのひとりごと」（No. 2）、学生相談室のブログ「学生ブログ」（No. 3）であった。また、学生に自然や季節感を感じてもらうために「植物たち」（No. 4）のコーナーも適宜公開している。

また、長期休暇が開始し、学生相談室が休室になる前に「夏休みのお知らせ」、「冬休みのお知らせ」（No. 5）を公開した。

これは毎年、継続して掲載しているものであるが、掲載内容は、1. 学生相談室カウンセラーから長期休みに入る学生向けのメッセージ、2. 学生相談室の休室期間、そして3. 心身の不調に陥った際の緊急時の連絡・相談先リンクの紹介であった。長期休暇に入ると、学生はそれまでの学期中の疲れが出たり、孤立して悩みを誰にも相談できずに苦しむ場合がある。また、学期開始直前に再度、前期のような体験をするのではないかと落ちこみ、修学意欲が落ちる学生もいる。このため、閉室期間中もこれらの学生のニーズに応えられるようにメッセージ発信し、24時間対応の相談

表5 新規公開したコンテンツ（2022年）

No.	公開時期	公開頻度	タイトル	対象者	形態
1	4月	年1回	はじめに (学生に向けてのメッセージ)	学生	記事
2	年間	ほぼ毎月	カウンセラーのひとりごと 2022年エッセイ	学生	記事
3		随時	学相ブログ 金曜 Re アワー	学生	記事・写真・音声
4		季節ごと	植物たち	学生	記事
5	長期休暇中	年2回程度	「夏休みのお知らせ」など	学生	記事

学相 ブログ



写真③ 学生相談室ブログ（通称：学相ブログ）

機関窓口の一覧を紹介した。

VI. 2022年の感染状況を受けての対応

次に2022年度の感染状況を受けて、特設サイトで行った対応について述べる。図1は、感染者が初めて出た2019年1月から2022年12月までの全国の感染者数を月毎に示したものである。図を見ると2022年がコロナ禍が始まって以来、最も感染者数が多く、感染者急増の時期が2回あった。

まず、1回目の増加は、2021年12月から始まり2022年2月の間まで感染者が大幅に増えたものである。その後、6月に向けて徐々に減少に転じている。2022年度の前期が開始した4月時点で、数は減少傾向にあったとはいえ、過去の中でも感染者数が多い状態にあり、大学生の間で不安が高

まっている状態であった。

その後、6月から8月の3ヶ月で感染者が急激に増加し、この時期の感染者数が過去最多であったことが分かる（厚生労働省2022, NHK 2022）。この時期は、前期授業が終わりに差し掛かり、テスト期間に入る頃であるが、感染し療養するために授業を休む学生が急増し、多くの学生が自宅や下宿先に滞在する状況であった。

この感染者が急増した2つの時期に生じた混乱や不安に対応するため、特設サイトのトップページに「重要なお知らせ」として、感染症対策に関する特設サイト内へのリンクを多く掲示した（写真④）。

例えば、学生が自宅・下宿先で感染した際に必要となる食料・物品一覧を記したページ（「コロナに感染したときの備え」）を掲載した。周囲で感染者が増え、感染はいつ自分の身に起きてもおかしくない身近なものという危機感はあるとしても、学生にとって何をどう備えればよいか想像が難しい可能性がある。その上、感染者が急増した当時、援助物資が十分に行き渡らない事態が生じた経緯がある。そこで、学生が自ら最低限、生活していけるための備えを把握しておくことが必要と考えられたため、チェックリストとして使える一覧を公開した。

また、「陽性になられた方、濃厚接触者の方へ」

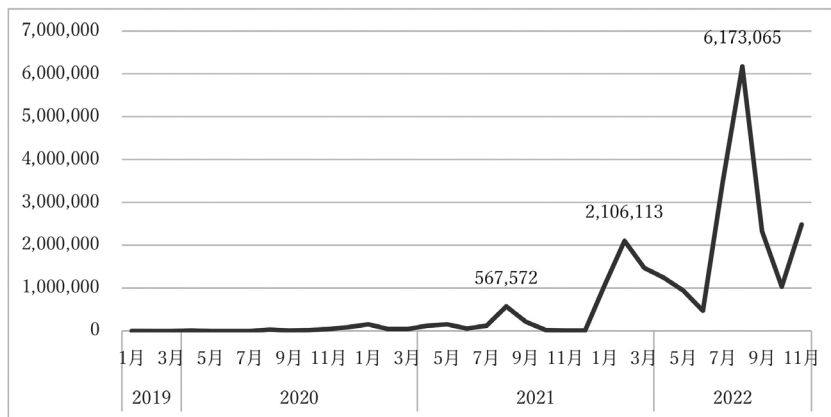


図1 全国の月毎の感染者数（2019.1-2022.12）（厚生労働省, 2022より筆者が作成）

甲南大学 学生相談室

新型コロナウイルス 特設サイト

新着記事 NEW!!

- ・ グループワーク「エコクラフト②」
やります! (金曜Reアワー)
- ・ エッセイ
「心の花を咲かせよう!」 NEW!!
- ・ トーンチャイム②
もみじ・ジンジャーベルの音色
- ・ 学生相談室の「秋の植物たち」 NEW!!

重要なお知らせ

- ・ 陽性になられた方、濃厚接触者の方へ
- ・ コロナに感染したときの備え
- ・ 緊急時の相談先はこちら
- ・ 学生相談室LINE 詳しくはこちら



写真④ 感染者が増えた時期のトップページ

へのリンクもトップページに掲載した。これは、学生が感染したり濃厚接触者になった際の不安を緩和するために、感染し、隔離状態にあるときに一般的に生じる心理的反応を説明する心理教育的内容を含むコンテンツである。また、24時間対応の緊急時の相談先の一覧を示し、「緊急時の連絡先」も掲示した。

これらの情報を提示することにより、学生がコロナに対して受け身になるのではなく、自助努力で感染に備えたり、感染した際にも不安や動揺、孤独感を和らげ、精神的な安定を得られるようにした。

また、2022年に注力したものの一つに学生相談室のブログである「学相ブログ」の活動がある。2022年は、感染者が増えた年でもあったが、それと同時に、外出自粛・制限の緩和がなされ、後期からは対面授業も増加した。そのため、学生同士の関係ややりとりが急激に増え、そのような事態に困惑する学生も一定数いたと考えられ、学生の居場所やつながりを作る必要があった。

そこで、学生相談室で前期・後期にほぼ毎週、実施をしている学生対象のグループ活動である「金曜 Re アワー」が、学生にとっての一つの居場所となることが考えられた。

これにあたり、WEB サイトよりもコンテンツの

公開を迅速にでき、学生も閲覧が気軽にできるブログを作り、そこで周知をすることとなった。ブログでは、事務の方々と協力し、毎週グループ活動の告知を行い、また、グループ活動を実施したレポートをほぼ毎週、活動実施後に公開した(写真⑤)。



写真⑤ 金曜Reアワーの開催レポート

これらのグループ活動のレポートを閲覧することにより、参加した学生は、自分が参加したプログラムを振り返って内容を確認でき、参加し体験した実感を持つことができる。また、参加に至ってはいないけれども、将来的にグループ活動に興味を抱き、参加をしたいと考えている学生もグループの活動内容を知ることができ、いずれ参加に至りやすくなる可能性も生まれる。これ以外に、ブログで継続的に発信することにより、学内・学外の関係者や学生の保護者にも学生相談室や本学の活動を周知できるなどの副次的なメリットが考えられた。

VII. 特設サイトの閲覧者数の推移

閲覧者数（のべ人数）の過去3年の比較（表6）を見ると、2020年が10,493名、2021年が13,344名、2022年が7,641名である。なお、2020年は特設サイトを設置したのが5月であったため、公開期間が他の年よりも短いため、総閲覧者数が少なくなっている。

表6 過去3年の閲覧者数（のべ人数）

年	閲覧者数（のべ人数）
2020（5-12月）	10,493
2021	13,344
2022	7,641
計	31,478

（2022.12.31時点）

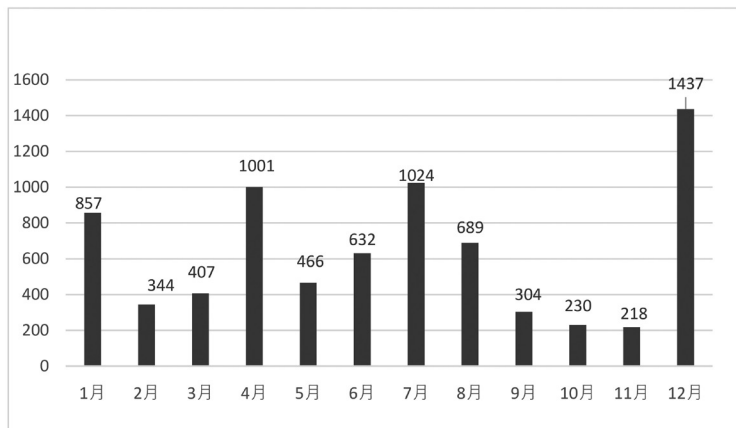


図2 各月の閲覧者数（のべ人数）の推移（2022.1.1-2022.12.31）

全体で見ると2022年は過去2年と比べて閲覧者が減少しているが、これは、ワクチン接種が進み、個人差はあるもののコロナに感染した場合でも重症化のリスクが軽減されたために、コロナへの不安が相対的に低下したことが考えられる。

また、行動制限が解かれて社会生活が活発になったが、本学においても2022年前期・後期は対面授業が増加し、学生同士の生身の関わりやキャンパスでの活動が増えたために、コロナに関する情報への関心が薄まったことも影響している可能性がある。

次に、特設サイトの閲覧者の推移（のべ人数）を各月毎に示す（図2）。これを見ると、上述した感染者数が増加した時期（図1）と連動して、閲覧者が増加していることが分かる。また、4月は1,001人と閲覧者数が多いが、これはコロナによる不安だけではなく、入学し新しい大学生活への適応を求めた学生がいたために、特設サイトを閲覧する者が多かったと考えられる。

また、6・7・8月の感染者が急増した時期においても、WEBサイトの閲覧者数が増加している。これは過去と比べて、感染者が大幅に増え、実際に感染したり濃厚接触者となった学生が増加したことも関係しているためと考えられる。

また、12月に閲覧者数が飛躍的に増加しているが、これは、学生相談室の室長である山崎俊輔教

授が、1年生の受講者が400名以上いる授業にて本サイトを紹介したことが影響していると考えられる。1年生に情報を伝えられる機会が少ないことを考えると、貴重な機会であると考えられる。

VIII. まとめと今後に向けて

—2022年に特設サイトが果たした役割—

ワクチン接種により重症化率が減ったものの、2022年の前期の終わり頃から感染者数が飛躍的に増え、筆者の周りでも目に見えて感染者が増えていた。感染者が急激に増加する前後から、社会や学生の不安が増し、コロナ関連のコンテンツ、感染した際の心理教育に関するコンテンツが多く読まれた。

2022年の総閲覧者数は過去2年と比べて減少傾向にあるが、コロナの感染状況・社会情勢、そして人々の不安に応える形で、特設サイトの記事が読まれ、それなりの役割を果たしたといえる。実際に、2021年に作成したコンテンツが感染拡大状況を受けて、2022年に多く読まれたものも少なかった。例えば、「コロナに感染した方へ」は2021年に感染者を対象に作成したが、2022年にも多く閲覧されている。これは、時間を経ても学生や閲覧者のニーズが認められ、読み継がれていることを示しているといえる。

WEBの場合、一度、公開した情報はインターネット上に残り続けるため、学生がインターネットへのアクセスさえできれば、いつでも何度でも閲覧が可能となる。実際に学生と会って口頭で説明をすることでより多くのことが伝えられると思われるが、コロナのように会って話すことで感染のリスクを伴う状況では、やはりインターネットを利用した情報発信の利便性は高く、メリットも大きい。この点はそれぞれのメリット・デメリットを踏まえて使い方を考えていく必要がある。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、特設サイトを公開してから約3年が経過する。毎年、コロナ禍が収束する見通しが立たず、感染状況がし

ばらく続くという想定のもと、WEBサイトの運営をしてきた。

感染者数に関する図表を作成して気付いたことであるが、過去の感染者数から当時の感染状況を説明することはできても、実際にコロナ禍の渦中にいて、学生支援の現場に身を置いていると、状況が短期間で目まぐるしく変わり、対応が非常に難しい。よって「感染者がいなくなる、もしくは感染者が増える」という「ゼロかイチ」かの視点ではなく、感染状況が長期間続くという想定のもと、様々な状況をシュミレーションして、それらに備えておくことが、緊急時において対応の幅を増やせることにつながる。

個々の状況に一喜一憂することなく、今後も様々な状況に対応可能な柔軟なWEBサイトの作成と、質の高いコンテンツを検討・制作し、学生に届けることが重要と思われる。

文 献

厚生労働省 データからわかる—新型コロナウイルス感染症情報 <https://covid19.mhlw.go.jp> (取得日:2022.12.4)

Twitter: <https://twitter.com>

NHK 特設サイト新型コロナウイルス

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/entire/> (取得日:2022.12.4)

西浦太郎 2021「甲南大学学生相談室 新型コロナウイルス特設サイト」報告 - WEB サイト設立の経緯・コンテンツ・閲覧者数 (2020年5月-2020年12月) - 甲南大学学生相談室紀要 第28号 88-94

西浦太郎 2022「甲南大学学生相談室 新型コロナウイルス特設サイト」報告 - WEB サイト設立の経緯・コンテンツ・閲覧者数 (2021年1月-2021年12月) 甲南大学学生相談室紀要 第29号 53-59

甲南大学公式 WEB サイト <https://www.konan-u.ac.jp> (2021.12.1 取得)

甲南大学 学生相談室 (甲南大学学生相談室 常設サイト) https://www.konan-u.ac.jp/life/student_counseling/guide.html (2022.12.1 取得)

甲南大学 学生相談室 新型コロナウイルス特設サイト <https://konan-gakuso.wixsite.com/tokusetsu> (2022.12.1 取得)

ホームページ作成|無料ホームページ制作ツール Wix.com <https://ja.wix.com> (2022.12.3 取得)